

臨時休業明けの年間指導計画参考資料 (歴史的分野・第1学年)

※歴史的分野（第1学年）の教科書での時数 47 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 14.5 時間

（第1学年の社会科全体の時数 105 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 16.7 時間）

※2020 年度は、2021 年度から全面実施される新学習指導要領への移行期間となり、地理的分野が5時間減、歴史的分野が5時間増となることを受け、一部時数配分の変更を行っておりますのでご注意ください。

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
1	歴史学習の初めに (p. 1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的分野の学習を始めるに当たって、歴史を学習する意義について考える。 ● 地理的分野や公民的分野との関係について理解し、教科書の目次などを基に、これから学習する歴史的分野の学習の概要を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第3学年の公民と異なり、中学校の社会科学学習の初めになるため、地理的分野と歴史的分野を合わせて1時間で、中学校の社会科学学習の導入とすることとした。 ● 前見返しや後見返し、目次を見て、歴史的分野・地理的分野の概要を把握するとともに、興味・関心を持ったものをノート等へ書き出す。 ● 「歴史学習の初めに」「地理学習の初めに」にある文章を読み、中学校社会科の学習の意義について考えたことをノート等に論述する。 <p>【0.5時間】※</p> <p>※上記の活動を踏まえて、中学校社会科学学習全体の流れや目標について、1時間（歴史・地理各0.5時間）で指導する。</p>

第1章 歴史の流れをとらえよう

（配当6時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動3時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
2 3 4 5	歴史の流れをとらえよう 1 身近なものにも歴史がある！？ (p. 5~9) 歴史の流れ 時代や年代を読み取ろう 2 「歴史の流れ」から思い出してみよう (p. 10) 3 「歴史の流れ」からまとめよう (p. 11)	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史上の人物や出来事、身近な物事の歴史について、調べたり考えたりする活動を通して歴史を学ぶ意欲を高める。 ● 日本の歴史の移り変わりに気付き、年代の表し方や時代区分についての基本的な事項を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● p. 5の「身近なものにも歴史がある!?!」を読み、p. 8~9の「歴史スキル・アップ① 時代や年代を読み取ろう」で習得した歴史学習の基礎的技能を基に、p. 10~11の「『歴史の流れ』から思い出してみよう」、「『歴史の流れ』からまとめよう」の活動に取り組む。 <p>【3時間】</p> <p>※p. 8~9の「歴史スキル・アップ」は1</p>

歴史-2

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
			時間の授業で扱い、技能を習得させる。 なお、時代や年代の表し方などは、この 単元においての授業における時間数の 削減を踏まえ、授業において内容を 学習する際に繰り返し確認することで 定着を図る。
6 7	<p>4 歴史の調べ学習をする には…? (p.12~18)</p> <p>テーマを決めるポイント 調べるポイント 考察するポイント まとめと発表のポイント 見直すポイント</p> <p>図書室・図書館を利用しよう インターネットを利用しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史上の人物や出来事についての資料を収集したりまとめたりする活動を通して、主体的に学習する態度を身につける。 ● 意欲を持つて的確に発表する活動を通して、歴史に対する関心や表現力の基礎を身につける。 ● 学習全体についての評価活動を通して、その後の学習や学習に生かす。 	

身近な地域の歴史

(配当 6 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 5 時間)

主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p>◆古代の玄関口・福岡 大陸との交流を探る (p. 54~57)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校周辺を探索しよう 2 調べるテーマを決めよう 3 金印から探る(博物館で調べよう) 4 稲作から探る 5 遣唐使から探る 6 調べたことをまとめよう(年表にまとめよう) 7 まとめた内容から考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な地域の歴史に関心を持ち、博物館や遺跡の見学・調査を通して、歴史の学び方を身につける。 ●博物館や遺跡の見学・調査を通して、古代の日本と大陸との交流について、具体的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●第1章の「4 歴史の調べ学習をするには…?」(p. 12~18)で習得した調べ学習の技能を基に、1時間目でのテーマ設定を受けて、資料収集・読み取り、考察、まとめの作業を行う。 【5時間】 ※第1章での調べ学習の手法についての確認と、実際の調査テーマの設定までは授業で行う。
<p>◆戦国時代の城下町・一乗谷 朝倉氏のまちづくり (p. 88~91)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調べるテーマを決めよう 2 調べてみよう① 3 調べてみよう②(資料館で調べよう) 4 調べてみよう③(図書館や文書館で調べよう) 5 調べたことをまとめよう(グループ内で共有して考えよう、レポートにまとめよう) 	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な地域に残る史跡に関心を持ち、現地調査や資料館での調査を通して、歴史の学び方を身につける。 ●現地調査や資料館の見学・調査を通して、戦国時代の城下町の様子と人々の暮らしについて、具体的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ※生徒からの相談や進捗状況を把握する機会を設けるなど、生徒の学習状況を適宜・把握し、適切に指導する。
<p>◆浮世絵にえがかれた風景から浮世絵を探る (p. 134~135)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調べるテーマを決めよう 2 地域の人にインタビューしてみよう 3 浮世絵作りを体験してみよう 4 プレゼンテーション・ソフトで発表しよう(プレゼンテーション・ソフトを使おう) 	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な地域に残る風景や身近な地域をえがいた絵画に関心を持ち、現地調査や体験的な学習を通して、歴史の学び方を身につける。 ●現地調査や体験的な学習を通して、江戸時代の浮世絵の特色について具体的に理解する。 	
<p>◆街の中に残る歴史・神戸 開港後の生活の変化を探る (p. 186~189)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調べるテーマを決めよう 2 資料探しから始めよう 3 街を歩いて資料を集めよう(野外調査をしよう) 4 イラストマップを作ろう(イラストマップを作ろう) 5 新たな疑問を探そう 	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な地域に残る記念碑などに関心を持ち、野外調査を通して、歴史の学び方を身につける。 ●野外調査を通して、開港後の神戸と外国との交流について具体的に理解する。 	

歴史-4

主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p>◆原爆ドームと平和への願い 原爆ドームの歴史 (p. 230~233)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調べてみよう 2 学習課題について考えてみよう 3 自分たちの意見や考えを伝えよう (ウェブページを作ろう) 	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な地域に残る史跡に関心を持ち、聞き取り調査や新聞社・資料館での調査などを通して、歴史の学び方を身につける。 ●聞き取り調査や新聞社・資料館での調査などを通して、原爆ドームと社会の動きについて具体的に理解する。 	
<p>◆町の歴史から将来を考える (p. 264~267)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 知っていることを挙げてみよう 2 調べてみよう 3 身近な地域について提案しよう (身近な地域の将来について提案しよう) 	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な地域の歴史に関心を持ち、施設の訪問や聞き取り調査を通して、歴史の学び方を身につける。 ●施設訪問や聞き取り調査を通して、身近な地域の変化について具体的に理解する。 	

第2章 古代までの日本

(配当 19 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 3 時間)

1 節 世界の古代文明と宗教のおこり (配当 6 時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
8	章の導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 年表にある事柄や人物、文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ● これから学習する時代に関する写真や年表、絵画などの資料を見て、この時代のイメージを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 章扉(p. 19)や p. 20～21 の写真や年表、語句を通して小学校の学習を振り返り、「やってみよう」の活動に取り組み、小学校の学習を踏まえて時代のイメージを考え、まとめる。 ● 教師用指導書付属 CD-ROM に収録されているワークシートも活用する。 <p>【1 時間】</p>
9	1 人類の出現と進化 (p. 22～23) 人類の出現 新石器時代	<ul style="list-style-type: none"> ● 人類が進化してきた過程や、人類の特徴を理解する。 ● 土器や石器の発明によって、人々の生活が変化したことを理解する。 	
10	2 古代文明のおこりと発展 (p. 24～25) 文明のおこり 文明の発展	<ul style="list-style-type: none"> ● 古代文明の特色を、生活技術の発達や文字の使用などを通して理解する。 ● 古代文明がおこった地域の特色について考える。 	
11	3 中国文明の発展 (p. 26～27) 中国文明の発生 統一帝国の成立	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国の古代文明の特色を、具体的な資料を通して理解する。 ● 中国の古代文明が日本に与えた影響について考える。 	
12	4 ギリシャ・ローマの文明 (p. 28～29) ギリシャの都市国家 ヘレニズム ローマ帝国	<ul style="list-style-type: none"> ● ギリシャ・ローマの文化と政治や社会の仕組みの特色を理解する。 ● ギリシャ・ローマの文明が、現在のヨーロッパ文化と深く結びついていることに気付く。 <p>※移行措置の内容だが、現行で十分対応しているため、教科書をそのまま活用した指導が可能。</p>	
13	5 宗教のおこりと三大宗教 (p. 30～31) 宗教のおこり 仏教のおこり キリスト教のおこり イスラム教のおこり	<ul style="list-style-type: none"> ● 古代の宗教のおこりについて、その概略を理解する。 ● 古代の宗教がおこった地域の特色について考える。 	

2 節 日本列島の誕生と大陸との交流 (配当 3 時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
14	<p>1 日本列島の誕生と縄文文化 (p. 32～33)</p> <p>日本列島の誕生 縄文文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本列島における旧石器時代の人々の生活の様子を具体的に捉える。 ● 縄文時代の人々の生活の様子を，考古学の成果を活用しながら具体的に理解する。 	
15	<p>2 弥生文化と邪馬台国 (p. 34～35)</p> <p>弥生文化の成立 国々の誕生 邪馬台国の女王</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 弥生時代の人々の生活の様子を，考古学の成果を活用しながら具体的に理解する。 ● 日本の国家が形成されていく過程のあらましを，東アジアとの関わりを通して捉える。 	
16	<p>3 大王の時代 (p. 36～37)</p> <p>大和政権の発展 古墳文化 中国・朝鮮半島との交流 大陸文化を伝えた渡来人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 大和地方を中心に国内が統一されたことを，古墳の広まりを通して理解する。 ● さまざまな資料を通して，日本と中国・朝鮮半島との交流について気付く。 	

3 節 古代国家の歩みと東アジア世界 (配当 10 時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
17	1 聖徳太子の政治改革 (p. 38~39) 聖徳太子の政治 飛鳥文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 聖徳太子の政治について理解する。 ● 飛鳥文化の特色を仏教の伝来と関連付けて捉える。 	
18	2 大化の改新 (p. 40~41) 大化の改新 律令国家への歩み	<ul style="list-style-type: none"> ● 大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を理解する。 ● 7世紀の東アジアの動きを、国内の情勢と関連付けて捉える。 	
19	3 律令国家の成立と平城京 (p. 42~43) 大宝律令 都と国	<ul style="list-style-type: none"> ● 律令の制定、都の造営、地方への支配の広がりなどを通して、古代国家の特色について捉える。 ● 律令制度の内容を通して、古代国家の仕組みを理解する。 	
20	4 奈良時代の人々の暮らし (p. 44~45) 人々の身分と負担 土地の私有と荘園	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良時代の人々の生活の実態について、班田収授法を通して理解する。 ● 律令制度の基盤である公地・公民の制がくずれ始めた理由を考える。 	
21	5 天平文化 (p. 46~47) 天平文化 奈良時代の仏教と社会 歴史書と万葉集	<ul style="list-style-type: none"> ● 代表的な文化財を通して、天平文化の特色を理解する。 ● 遣唐使の派遣が果たした役割について考える。 	
22	6 平安京と東アジアの変化 (p. 48~49) 平安京 最澄と空海 東アジアの変化と遣唐使の停止	<ul style="list-style-type: none"> ● 平安遷都の理由・意義や、平安時代初めの政治の特色について理解する。 ● 平安時代の新しい仏教の特色について理解する。 	
23	7 摂関政治と文化の国風化 (p. 50~53) 摂関政治	<ul style="list-style-type: none"> ● 藤原氏が行った摂関政治の特色について理解する。 ● 代表的な事例を通して、国風化した文化の特色を理解する。 	
24	国風文化 浄土信仰 [歴史スキル・アップ] 絵巻物を見てみよう		
-	[深めよう] 現代に受けつがれる神話 (p. 58~59) 「記紀神話」の成立 「記紀神話」の展開 日本の神話と世界の神話	<ul style="list-style-type: none"> ● 神話に関心を持ち、現在にも伝えられていることに気付く。 ● 神話が、神楽をはじめとした各地の伝統芸能に取り入れら 	

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
	島根県と神話 宮崎県と神話	れ、受け継がれていることに 気付く。	
-	[深めよう] 考古学のとび ら (p. 60) どっちが古いかな？ いつのものなのだろう 年輪の活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 当時の様子や年代を調べるさまざまな手法を知り，考古学に関心を持つ。 ● 古代以降の歴史学にも考古学が活用されていることに気付き，歴史学と考古学とが密接に関連していることを理解する。 	
25 26	章のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語活動を通してこの時代を大観し，時代の特色を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● p. 62 で第 2 章での学習を振り返り，語句の確認や古代の律令体制の整理，学習内容の確認の問に取り組む。 ● 確認した内容を基に，p. 61 の「この時代の特色をとらえよう」の「人物と連想できる事柄をつなげてまとめよう」の活動に取り組み，作成したウェブマップを基に，時代の特色についての自分の考えを深め，まとめる。 ● 教師用指導書付属 CD-ROM に収載されているワークシートも活用する。 <p>【2 時間】</p>

第3章 中世の日本

(配当 14 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 3 時間)

1 節 武士の台頭と鎌倉幕府 (配当 6 時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
27	章の導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 年表にある事柄や人物，文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ● これから学習する時代に関する写真や年表，絵画などの資料を見て，この時代のイメージを持ったり，前の時代との違いを予想したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 章扉 (p. 63) や p. 64～65 の写真や年表，語句を通して小学校の学習を振り返り，「やってみよう」の活動に取り組み，小学校の学習を踏まえて時代のイメージを考え，まとめる。 ● 教師用指導書付属 CD-ROM に収録されているワークシートも活用する。 <p>【1 時間】</p>
28	1 武士の成長 (p. 66～67) 武士の登場 武士団と荘園	<ul style="list-style-type: none"> ● 武士が次第に勢力を広げたことを，都や地方でおきた戦乱の様子などから理解する。 ● 荘園と公領からなる新しい土地制度の広がり，武士の成長との関連について考える。 	
29	2 武士の政権の成立 (p. 68～69) 院政と武士 源平の争乱	<ul style="list-style-type: none"> ● 武士が政権をにぎった過程について，平清盛を通して理解する。 ● 院政の特色を，摂関政治と比較して理解する。 	
30	3 鎌倉幕府の成立と執権政治 (p. 70～71) 鎌倉幕府の始まり 執権政治	<ul style="list-style-type: none"> ● 武家政権が東国に生まれ，支配力を広げていった様子を，幕府と朝廷の関係などから理解する。 ● 将軍や執権と御家人の関係に着目して，武家政権の特色を考える。 	
31	4 武士と民衆の生活 (p. 72～73) 地頭の支配 武士の生活 民衆の動き	<ul style="list-style-type: none"> ● 鎌倉時代の武士の生活の様子を，絵巻物や文書資料などを通して理解する。 ● 農業技術や手工業・商業の発達による生活の向上がもたらした社会の変化について考える。 	
32	5 鎌倉時代の文化と宗教 (p. 74～75) 鎌倉文化 鎌倉仏教の教え	<ul style="list-style-type: none"> ● 代表的な事例を通して，鎌倉時代の文化の特色を理解する。 ● 鎌倉時代の仏教の特色を理解し，それが広まった理由を考える。 	

2 節 東アジア世界との関わりと社会の変動 (配当 8 時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
33 ・ 34	1 モンゴルの襲来と日本 (p. 76~77) モンゴル帝国の拡大 二度の襲来 鎌倉幕府の滅亡	●ユーラシア大陸での動き, モンゴルの襲来と日本の対応について理解する。 ※移行措置の内容。元寇がユーラシア大陸の変化の中で起こったことを理解できるよう, 時数を1時間増加して指導する。 ●鎌倉幕府が滅亡した理由を, モンゴルの襲来の影響や社会の変化から考える。	
35	2 南北朝の動乱と室町幕府 (p. 78~79) 南北朝の動乱 室町幕府の発展 守護大名と地方の動き	●建武の新政から南北朝の動乱に至る経過を理解する。 ●室町幕府と鎌倉幕府の仕組みを比較して, その特徴を捉える。	
36	3 東アジアとの交流 (p. 80~81) 日明貿易 朝鮮との貿易 琉球王国の成立 アイヌ民族の交易	●東シナ海をはさんだ中国・日本・朝鮮の結びつきや, 蝦夷地の動きを捉える。 ●琉球や蝦夷地の人々の交流や結びつきについて理解する。	
37	4 産業の発達と民衆の生活 (p. 82~83) 農業の進歩と手工業の発展 商業の発展と都市の成長 村の自治	●農業や商業・手工業などが発達し, 民衆の力が伸びてきたことを理解する。 ●畿内を中心に自治的な組織が生まれたことを, 土一揆などの様子から捉える。	
38	5 応仁の乱と戦国大名 (p. 84~85) 応仁の乱 戦国大名の登場と城下町	●応仁の乱の原因や経過, その後の社会におよぼした影響について理解する。 ●戦国大名の登場とその支配について, 応仁の乱や下剋上の風潮から考える。	
39	6 室町文化とその広がり (p. 86~87) 室町文化 武士の文化の成長 民衆への文化の広がり	●代表的な文化財を取り上げて, 室町時代の文化の特色を理解する。 ●この時代に生まれた文化で, 現代に受けつがれているものに関心を持つ。	
-	[深めよう] 東アジア世界の朝貢体制と琉球王国 (p. 92~93) 朝貢ってなに? 東アジア世界の形成	●中国の朝貢体制を通して, 東アジア全体での人やものの交流が生まれたことを理解する。 ●朝貢体制の中で, 発展した琉	

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
	朝貢体制と室町幕府 琉球王国と朝貢体制	球王国の成立と繁栄の様子について理解する。	
-	[深めよう] 室町時代の生活文化と現代 (p.94) 衣食住	<ul style="list-style-type: none"> ● 室町時代の文化と現代とのつながりについて、衣食住に着目して考える。 ● 絵画資料から、室町時代の生活文化の特色について理解する。 	
40 41	章のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語活動を通して中世を大観し、時代の特色を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● p.96 で第3章での学習を振り返り、語句の確認や幕府の仕組みの整理、学習内容の確認の問いに取り組む。 ● 確認した内容を基に、p.95の「この時代の特色をとらえよう」の『比較表』でまとめようの活動に取り組み、作成した表を基に、時代の特色についての自分の考えを深め、まとめる。 ● 教師用指導書付属 CD-ROM に収載されているワークシートも活用する。 <p>【2時間】</p>